



TZ-ND001

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC 対応デュアルサイズ CD/USB/iPod レシーバー

取扱説明書

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、国外で使用することはできません。

販売元 **トヨタ モビリティパーツ株式会社**

製造元 **株式会社 JVCケンウッド**


Made for
 iPhone | iPod




安全上のご注意(必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。



注意 (しなければならぬ)の内容です。



禁止 (してはいけない)の内容です。



実行 (かならず行っていただく)の内容です。

取り付けや配線について



本機はDC12V \ominus アース車以外で使用しない
火災や故障の原因になります。DC24V車(大型トラックや寒冷地仕様
のディーゼル車など)で使用しないでください。

**エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付け
と配線をしない**

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車
に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してくだ
さい。

**取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、
ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用
しない**

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

**視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす
場所には取り付けない**

交通事故やケガの原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤っ
た取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因とな
ります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってくださ
い。



作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意



自動車のコンソールに取り付ける

本機の使用前または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。



直射日光やヒータの熱風が直接当たる場所に取り付けられない

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けられない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について



警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談してください。



注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

使用中または使用直後は放熱器にふれない

本機の使用または使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。本機を取り外すときは、直接触れることはお止めください。やけどをする場合があります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モーター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ



警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

使用上のご注意

本機を使用させていただくうえで、知っておいていただきたいことです。

異常にお気づきのときは(リセット方法)

本機の異常にお気づきのときは、「故障かな?と思ったら」(ページ 32)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、「操作パネル」(ページ 14)を参照して、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへ相談してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときは本機のリセットボタン(ページ 14)を押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

機器の保管について

USB機器、iPod/iPhoneを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器、iPod/iPhoneが変形や故障する場合があります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合は

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、本機の電源をオンすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、音源をSTANDBYに切り替えてください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスが柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

使用上のご注意

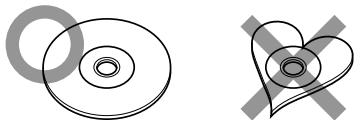
ディスクの使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。レコード用クリーナー、静電防止剤やシンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。
- 本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に「バリ」がないことを確認してください。「バリ」がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなくなったり音飛びの原因になります。「バリ」があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。

- 特殊な形状のディスク。円形以外のディスクは、故障の原因になります。



- 記録面（レーベル面の裏）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。

-  マークのないディスク。
正しく再生されない可能性があります。

- ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW。
お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理（ファイナライズ処理）を行ってください。ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

表示できる文字について

英大文字、数字といくつかの記号が表示できます。表示できない文字は、「_」表示となります。

使用上のご注意

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解/改造すること
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4 :	2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH :	FH-SS変調方式を表します。
1 :	電波と干渉距離は10mです。
■■■ :	全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約10 mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレーザーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

使用上のご注意

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

株式会社JVC ケンウッド(以下、「ライセンサー」)が提供する本体組み込みソフトウェア(以下、「許諾ソフトウェア」)はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。お客様(以下、「使用者」)が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

【使用許諾契約書】

第 1 条 (総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用权を使用者に許諾します。

第 2 条 (使用权)

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアのを本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたと問わず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第 3 条 (許諾条件)

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア(その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む)の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条 (許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者(以下、原権利者)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

第 5 条 (ライセンサーの免責)

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条 (第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

使用上のご注意

第 7 条 (秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条 (契約の解除)

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条 (許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2 週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条 (著作権保護)

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第 11 条 (輸出規制)

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること(インターネット等を利用した国外送信を含みます)はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます)に従うことに同意するものとします。

第 12 条 (その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

以上

使用上のご注意

Important Notice concerning the Software

-jansson

Copyright (c) 2009-2012 Petri Lehtinen <petri@digip.org>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

-cJSON

Copyright (c) 2009 Dave Gamble

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

-CMP

The MIT License (MIT)
Copyright (c) 2014 Charles Gunyon

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

nanopb

Copyright (c) 2011 Petteri Aimonen <jpa@nanopb.mail.kapsi.fi>

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
 2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
 3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.
-

使用上のご注意

sha2

AUTHOR: Aaron D. Gifford - <http://www.aarongifford.com/>

Copyright (c) 2000-2001, Aaron D. Gifford

All rights reserved.

You may obtain a copy of the license at
<https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Posix

Copyright (c) 1990, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

Copyright (c) 1995, 1996 Carnegie-Mellon University. All rights reserved.

Author: Chris G. Demetriou

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided that both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.

CARNEGIE MELLON ALLOWS FREE USE OF THIS SOFTWARE IN ITS "AS IS" CONDITION. CARNEGIE MELLON DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE.

Carnegie Mellon requests users of this software to return to

Software Distribution Coordinator or Software.Distribution@
CS.CMU.EDU
School of Computer Science
Carnegie Mellon University
Pittsburgh PA 15213-3890

any improvements or extensions that they make and grant Carnegie the rights to redistribute these changes.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

Copyright (c) 1993 Martin Birgmeier

All rights reserved.

You may redistribute unmodified or modified versions of this source code provided that the above copyright notice and this and the following conditions are retained.

This software is provided "as is", and comes with no warranties of any kind. I shall in no event be liable for anything that happens to anyone/anything when using this software. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

使用上のご注意

T-Kernel 2.0

This product uses the source code of T-Kernel 2.0 under T-License 2.0 granted by T-Engine Forum (www.tron.org)

BSD-3-Clause

Copyright (c) 2000-2001, Aaron D. Gifford
All rights reserved.

You may obtain a copy of the license at
<https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

LFS Subsystem

Copyright The Regents of the University of California. All rights reserved.

You may obtain a copy of the license at
<https://directory.fsf.org/wiki/License:BSD-4-Clause>

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Accordo2 Player
Apache License
Licensed under the Apache License,
Version 2.0, January 2004 (the "License");
You may obtain a copy of the license at
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

もくじ

安全上のご注意(必ずお守りください)	2
使用上のご注意	5
基本操作	14
はじめに	15
1 日付と時刻を合わせる	
2 その他オプションの設定をする	
ラジオを聞く	17
交通情報を聞く	18
CD/USB/iPodを聞く	19
外部接続機器を聞く	22
Bluetooth® 機器を使う	22
Bluetooth — 接続	
Bluetooth — 携帯電話	
Bluetooth — オーディオ	
音質を設定する	28
ディスプレイの表示を設定する	30
その他の情報	31
それぞれの音源について	
ディスプレイの表示を切り替える	
故障かな?と思ったら	32
仕様	34
配線・取り付け	36
保証とアフターサービス	38

この取扱説明書について

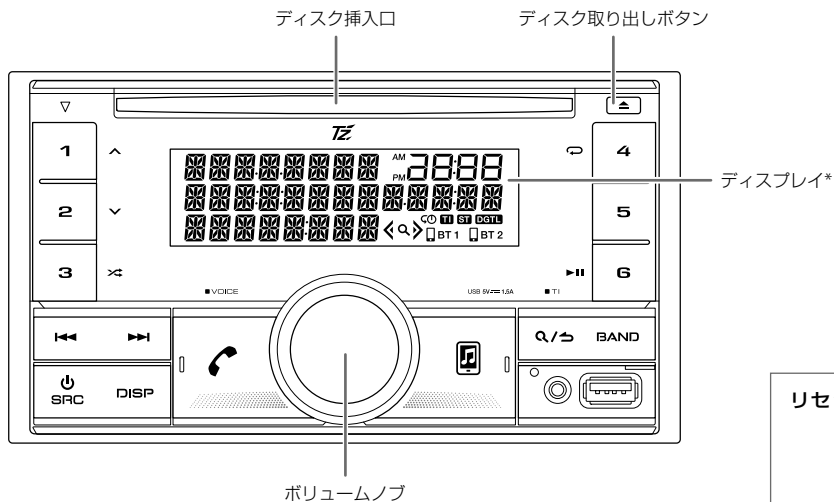
- この取扱説明書に使われている操作パネルやディスプレイは、操作についてわかりやすく説明するための例です。実際のディスプレイや操作パネルと異なる場合があります。
- 操作は本体の操作パネル上のボタンを使って説明しています。
- (ページ 数字)は、本文中の参照ページを示しています。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

基本操作

操作パネル



* イラストは実際の機器と異なる場合があります。

動作

操作パネル

電源をオン/オフにする

- [**SRC**]を押す
- ・押し続けると電源がオフになります。

音量を調節する

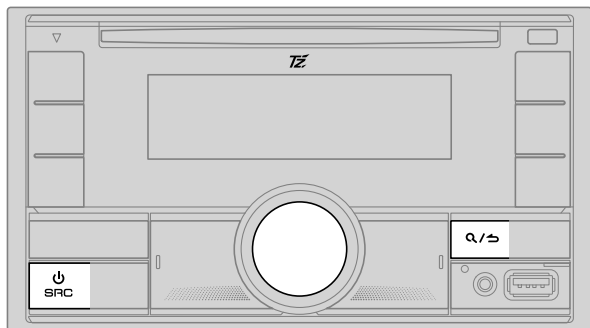
ボリュームノブを回す

音源を切り替える

- ・[**SRC**]を繰り返し押します。
- ・[**SRC**]を押して、2秒以内にボリュームノブを回します。

ディスプレイの表示を切り替える

[**DISP**]を繰り返し押す(ページ 31)



はじめに

1 日付と時刻を合わせる

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“CLOCK”を選び、ボリュームノブを押す

時刻を合わせる

- 3 ボリュームノブを回して“CLOCK ADJUST”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを使い以下の順番で時刻を合わせる
「時」→「分」(回して選択、押して確定)
- 5 ボリュームノブを回して“CLOCK FORMAT”を選び、ボリュームノブを押す
- 6 ボリュームノブを回して“12H”または“24H”を選び、ボリュームノブを押す

日付を合わせる

- 7 ボリュームノブを回して“DATE FORMAT”を選び、ボリュームノブを押す
- 8 ボリュームノブを回して“DD/MM/YY”(日/月/年)または“MM/DD/YY”(月/日/年)を選び、ボリュームノブを押す
- 9 ボリュームノブを回して“DATE SET”を選び、ボリュームノブを押す
- 10 ボリュームノブを使い以下の順番で時刻を合わせる
「日」→「月」→「年」または「月」→「日」→「年」(回して選択、押して確定)

[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

その他オプションの設定をする

STANDBYを選んだときのみ、以下の項目の設定をすることができます。

- 1 [**SRC**] を繰り返し押ししてSTANDBYを選ぶ
- 2 ボリュームノブを押しして“FUNCTION”モードに入る
- 3 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す(下表参照)
- 4 手順3を繰り返しして項目を選び、設定する

[**Q/△**] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定： 下線部

DISPLAY	
EASY MENU	<p>FUNCTIONモードに入るときに、 ON：LCD DISPLAYのイルミネーションが白色になります。 OFF：LCD DISPLAYはCOLOR SELECTの色のままになります。 (ページ 30)</p> <ul style="list-style-type: none"> • EASY MENUの設定に限らず、FUNCTIONモードに入ると、KEY 1ゾーンとKEY 2ゾーンのイルミネーションが水色になります。 • イルミネーションのゾーンを確認するには30ページのイラストをご覧ください。
TUNER SETTING	
PRESET TYPE	<p>NORMAL：バンドごとに、6つの放送局を登録できます。 MIX：バンドに関係なく、6つの放送局を登録できます。</p>
SYSTEM	
KEY BEEP	ON/OFF ：操作時のピープ音をオン/オフにします。

SOURCE SELECT

BT AUDIO SRC	ON/OFF ：BT AUDIOを音源として選べるようになります。 (ページ 27)
BUILT-IN AUX	ON/OFF ：AUX(外部機器)を音源として選べるようになります。 (ページ 22)

CD READ

- 1：オーディオファイルのディスクと音楽CDを自動的に識別します。
- 2：音楽CDを再生します。オーディオファイルのディスクが再生されたときは、音は出ません。

F/W UPDATE

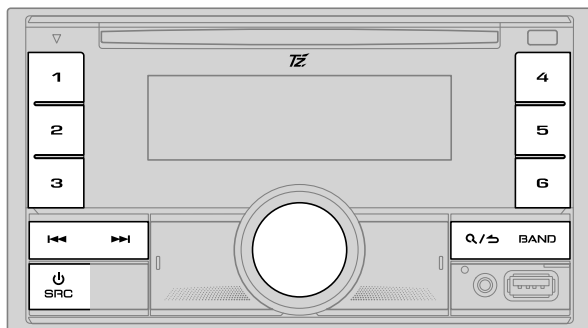
UPDATE SYSTEM

F/W UP xxxx	<p>YES：ファームウェアのアップデートを開始します。 NO：キャンセルします。(アップデートは実行されません)。 ファームウェアのアップデートについては、下記URLをご覧ください。 <https://www.kenwood.com/jp/car/></p> <ul style="list-style-type: none"> • ファームウェアをアップデートすると、元の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。
-------------	---

FACTORY RESET

YES/NO：この機能を使うと設定が初期設定にリセットされます。(登録した放送局を除く)

ラジオを聞く



FMステレオ放送を十分な電波の強さで受信しているときは「ST」表示が点灯します。

放送局を探す

- 1 [SRC]を繰り返し押し押ししてRADIOを選ぶ
- 2 [BAND]を繰り返し押し押ししてFM1、FM2、またはAM1、AM2を選ぶ
- 3 [◀◀]/[▶▶]を押し押しして放送局を探す

放送局を登録する

FMとAMそれぞれ12局ずつ登録できます。

■ 手動でプリセットをする

- 1 登録したい放送局を探す
- 2 放送局を登録する数字ボタン([1]～[6])を押し続ける
放送局が登録されると「STORED」と表示されます。
- 3 放送局を各数字ボタンに登録し終わるまで、手順1と手順2を繰り返す

■ 自動でプリセットをする

- ・“PRESET TYPE”で“NORMAL”が選ばれているときのみ、この機能を使用できます。
(ページ 16)
- 1 ボリュームノブを押しして“FUNCTION”モードに入る
 - 2 ボリュームノブを回して“TUNER SETTING”を選び、ボリュームノブを押す
 - 3 ボリュームノブを回して“AUTO MEMORY”を選び、ボリュームノブを押す
 - 4 ボリュームノブを回して“YES”を選び、ボリュームノブを押す
受信状態の良い放送局を自動的に6局登録します。

登録した放送局を受信する

数字ボタン[1]～[6]を押しして放送局を選びます。

ラジオを聞く

検索方法を切り替える

[◀◀]/[▶▶]ボタンを押したときの検索方法を選ぶことができます。

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“TUNER SETTING”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して“SEEK MODE”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して設定したい検索方法を選び、ボリュームノブを押す
“AUTO1”（初期設定）：放送局を自動的に受信します。
“AUTO2”：登録されている放送局を順番に受信します。
“MANUAL”：1ステップずつ周波数が変わります。

FMラジオをモノラルで聞く

受信状態が悪いときに、FMラジオをモノラルで聞くと雑音を軽減することができます。

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“TUNER SETTING”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して“MONO SET”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して“ON”を選び、ボリュームノブを押す

交通情報を聞く

交通情報を受信する

各種音源を聞いているときに、交通情報を受信することができます。

[Q/↵]を押し続けると、交通情報を受信します。
ディスプレイの「TI」表示が点灯します。

もう一度[Q/↵]を押し続けると、ひとつ前の画面に戻ります。

交通情報の周波数を切り替えるには

交通情報を受信中に[◀◀]/[▶▶]を押す
周波数が1,620 kHzまたは1,629 kHzに切り替わります。

- 交通情報を受信中に音量を調節すると、その音量が自動的に記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聞くことができます。

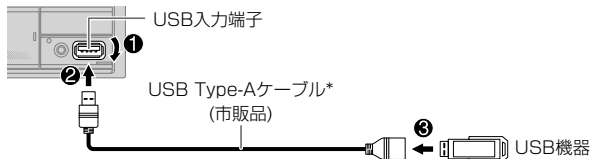
CD/USB/iPodを聞く

ディスクを挿入する



自動的に音源がCDに切り替わり、再生が始まります。

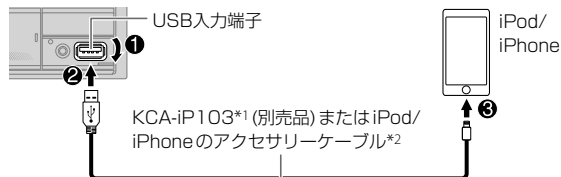
USB機器を接続する



自動的に音源がUSBに切り替わり、再生が始まります。

* ケーブルは、車内に放置しないでください。

iPod/iPhoneを接続する



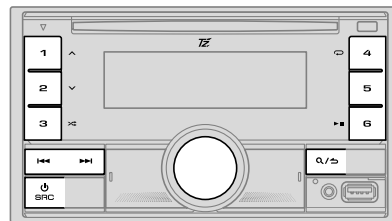
自動的に音源がiPod USBに切り替わり、再生が始まります。

- Bluetooth接続でiPod/iPhoneをつなぐこともでき(ページ 23)、Bluetooth接続をしているiPod/iPhoneで曲を聴くことができます。28ページの「Bluetooth接続でiPod/iPhoneを聞く」をご覧ください。

*1 KCA-iP103 : Lightning - USBケーブル

*2 ケーブルは、車内に放置しないでください。

基本的な操作



再生できる音源：

CD/USB/iPod USB または iPod BT

- 音楽ファイルを再生するには、31ページの「再生できるファイル」をご覧ください。

動作	操作パネル
再生/一時停止	[6▶]を押す
早戻し/早送りをする	[1◀◀]/[▶▶]を押し続ける
曲またはファイルを選ぶ	[1◀◀]/[▶▶]を押す
フォルダーを選ぶ*	[1▲]/[2▼]を押す
リピート再生をする	[4↺]を繰り返し押す TRACK REPEAT/ALL REPEAT : 音楽CD FILE REPEAT/FOLDER REPEAT/ALL REPEAT : MP3/WMA/AAC/WAV/FLACファイル REPEAT ONE/REPEAT ALL/REPEAT OFF : iPod
ランダム再生をする	[3>◁]を繰り返し押す DISC RANDOM/RANDOM OFF : 音楽CD FOLDER RANDOM/RANDOM OFF : MP3/WMA/AAC/WAV/FLACファイル SHUFFLE ON/SHUFFLE OFF : iPod [3>◁]を押し続けて、ALL RANDOM*を選ぶ

* 音源がCDのときは、MP3/WMA/AACファイルにのみ使えます。iPodでは使えません。

MUSIC DRIVEを選ぶ

音源がUSBのときに、[5]を繰り返し押す

以下のドライブに保存されている曲が再生されます。

- ・ スマートフォンの内蔵や外部メモリ (マストレージクラス)
- ・ マルチドライブ機器中の選ばれたドライブ。本機は4ドライブまでのマルチドライブ機器を利用可能です。しかし、3枚以上のカードが接続されているときは、読み込みに時間がかかる場合があります。

“FUNCTION”メニューからMUSIC DRIVEを選ぶこともできます。

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“USB”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して“MUSIC DRIVE”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して“DRIVE CHANGE”を選び、ボリュームノブを押す
次のドライブ (“DRIVE 1” ~ “DRIVE 4”) が、自動的に選ばれ、再生が開始されます。
- 5 手順1 ~ 4までを繰り返し、後続のドライブを選ぶ

[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

再生するファイルを選ぶ

■ フォルダーまたはリストから選ぶ

- 1 [Q/△]を押す
- 2 ボリュームノブを回してフォルダーまたはリストを選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回してファイルを選び、ボリュームノブを押す
選んだファイルが再生されます。

■ クイックサーチ (音源がCD、USBのときのみ使えます。)

ファイルが多くあるときに、速く検索できます。

- 1 [Q/△]を押す
- 2 ボリュームノブを回してフォルダーまたはリストを選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを速く回してリストを速く検索する
- 4 ボリュームノブを回してファイルを選び、ボリュームノブを押す
選んだファイルが再生されます。

■ スキップサーチ (音源がiPod USB、iPod BTのときのみ使えます。)

選んだリストにファイルが多くある場合、“SKIP SEARCH”で選んだ速さで、より素速くファイルを検索することができます。

- 1 [Q/△]を押す
- 2 ボリュームノブを回してリストを選び、ボリュームノブを押す
- 3 [◀◀]/[▶▶]を押してあらかじめ設定した速さで検索する
 - ・ [◀◀]/[▶▶]を押し続けると、“SKIP SEARCH”の設定とは関係なく、10%の割合でスキップします。
- 4 ボリュームノブを回してファイルを選び、ボリュームノブを押す
選んだファイルが再生されます。

SKIP SEARCHの設定

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“USB”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して“SKIP SEARCH”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回してスキップサーチの割合を選び、ボリュームノブを押す
“0.5%” (初期設定) / “1%” / “5%” / “10%”
検索の速さは、総ファイル数との割合を%で示しています。

■ アルファベットで検索する (音源がiPod USB、iPod BTのときのみ使えます。)

ファイルの頭文字で検索できます。

- 1 [Q/△]を押す
- 2 ボリュームノブを回してリストを選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを一度素早く回して、文字検索を始める
- 4 ボリュームノブを回して文字を選ぶ
 - ・ A ~ Zまたは0 ~ 9以外の文字の場合は、[*]を選びます。
- 5 [◀◀]/[▶▶]を押して、入力的位置を移動する
 - ・ 3文字まで入力できます。
- 6 ボリュームノブを押して検索を始める
- 7 ボリュームノブを回してファイルを選び、ボリュームノブを押す
選んだファイルが再生されます。

- ・ ルートフォルダー/最初のファイル/トップメニューに戻るには、[5]を押します。
(BT AUDIOではこの機能は使えません)
- ・ [Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。
- ・ キャンセルするには、[Q/△]を押します。

外部接続機器を聞く

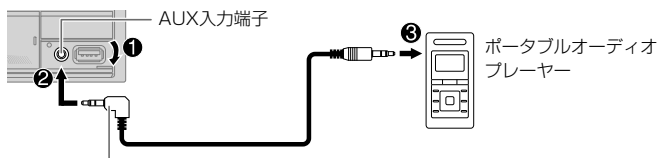
AUX入力端子に接続したポータブルオーディオプレーヤーから音楽を聴くことができます。

準備：

“SOURCE SELECT”の“BUILT-IN AUX”で“ON”を選びます。(ページ 16)

再生する

1 ポータブルオーディオプレーヤー(市販品)を接続する



L字型コネクタのステレオミニプラグ
(3.5 mm、市販品)

2 [SRC]を繰り返し押し続けてAUXを選ぶ

3 ポータブルオーディオプレーヤーの電源をオンにして、再生を始める

外部機器の名前を設定する

本機に接続しているポータブルオーディオプレーヤーを聞いているときに、

1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る

2 ボリュームノブを回して“SYSTEM”を選び、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して“AUX NAME SET”を選び、ボリュームノブを押す

4 ボリュームノブを回して設定したい名前を選び、ボリュームノブを押す “AUX”(初期設定)、“DVD”、“PORTABLE”、“GAME”、“VIDEO”、“TV”

[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

Bluetooth® 機器を使う

- お使いのBluetoothのバージョンによっては、本機でBluetooth機能を使うことができません。
- お使いの機器のBluetooth機能をオンにして、以下の操作を行ってください。
- 周囲環境により、接続環境も異なります。

Bluetooth — 接続

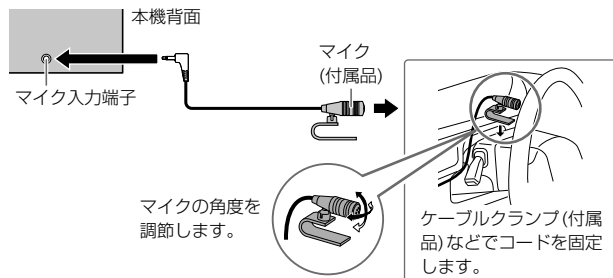
対応しているBluetoothのプロファイル

- Hands-Free Profile (HFP)
- Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
- Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
- Serial Port Profile (SPP)
- Phonebook Access Profile (PBAP)

対応しているBluetoothのコーデック

- Sub Band Codec (SBC)
- Advanced Audio Coding (AAC)

マイクを接続する



Bluetooth機器をはじめてペアリング・接続する

- 1 [**SRC**] を押して本機の電源をオンにする
- 2 Bluetooth機器で本機の名称 (TZ-ND001) を探して選ぶ
「PAIRING」 → 「PASS XXXXXX」 → 機器名 → 「PRESS」 → 「VOLUME KNOB」と表示されます。
 - Bluetooth機器によっては、機器が検索された後にPINコードを入力する必要があります。
- 3 ボリュームノブを押してペアリングを開始する
ペアリングが終了すると「PAIRING OK」と表示されます。

ペアリングが終了すると、自動的にBluetooth接続されます。

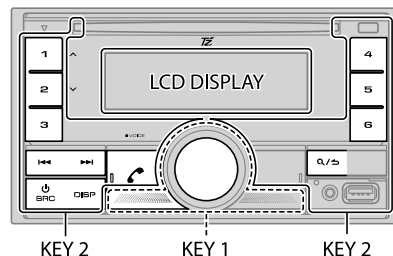
- ディスプレイの「**BT1**」表示か「**BT2**」表示、または両方が点灯します。
 - “BATT/SIGNAL” (ページ 24) の設定に応じて、接続している機器のバッテリーと信号の強度が副ディスプレイ (ページ 31) に表示されます。
 - 本機はSecure Simple Pairing (SSP) に対応しています。
 - 合計5台まで登録 (ペアリング) できます。
 - 一度ペアリングを行うと、本機をリセットしても、Bluetooth機器は登録されたままになります。登録した機器を削除するには26ページの“DEVICE DELETE”をご覧ください。
 - 同時にBluetooth搭載の携帯電話2台とオーディオ機器1台を使用することができます。登録した機器を接続または接続解除するには、“BT MODE”の“PHONE SELECT”または“AUDIO SELECT”をご覧ください。(ページ 26)
- BT AUDIOでは、5台のBluetooth機器を接続することができ、その中から1台を切り替えて選ぶことができます。(ページ 28)
- Bluetooth機器によっては、ペアリング後も、本機に自動的に接続されない場合があります。その場合は、手動で接続してください。
 - 詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご覧ください。

オートペアリングを起動する

“AUTO PAIRING”が“ON”に設定されているときに、iPhone/iPod touchをUSB入力端子に接続するとBluetoothのペアリングが自動的に起動します。(ページ 26)

機器名を確認してから、ボリュームノブを押してペアリングをする

Bluetooth — 携帯電話



電話を受ける

電話が来ると、




- “KEY 1”ゾーンと“KEY 2”ゾーンが緑色に光り、点滅します。
- “AUTO ANSWER”で時間設定をしていると自動的に電話を受けます。(ページ 24)

通話中は、

- “LCD DISPLAY”ゾーンは“COLOR SELECT”で行った設定に従って光ります(ページ 30)。
また、“KEY 1”ゾーンと“KEY 2”ゾーンは緑色に光ります。
- 本機の電源を切ると、Bluetoothの接続が解除されます。

Bluetooth®機器を使う

接続している携帯電話によっては、以下の操作方法が異なったり、できないことがあります。

動作	操作パネル
電話を受けるには	
電話を受ける	[]、ボリュームノブまたは [1] ~ [6] のいずれかを押す
着信を拒否する	[Q/△]を押す
通話を終了する	[Q/△]を押す
通話中に、	
通話中にいまの電話を保留にして他の電話を受ける	[]を押す
通話中に他の着信を拒否する	[Q/△]を押す
通話を切り替えるには、	
現在の通話を終了し、保留中の電話に切り替える	[Q/△]を押す
現在の通話と保留中の電話を切り替える	[]を押す
受信音量を調節する*1 [00] ~ [35] (初期設定: [15])	通話中にボリュームノブを回す
普通通話モードとハンズフリー通話を切り替える*2	通話中に[6▶II]を押す

*1 ここで調節する音量は、他の音源の音量調節には影響しません。

*2 接続しているBluetooth機器によっては、操作方法が異なる場合があります。

送話音質を調節する

通話中に、

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す(下表参照)
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、設定する


[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定: 下線部

MIC GAIN	LEVEL -10 ~ LEVEL +10 (<u>LEVEL 0</u>): 数値が大きくなるほど、マイクの感度が高くなります。
NR LEVEL	LEVEL -5 ~ LEVEL +5 (<u>LEVEL 0</u>): 通話中の雑音を低減するように調節します。
ECHO CANCEL	LEVEL -5 ~ LEVEL +5 (<u>LEVEL 0</u>): 通話中のエコーを低減するように調節します。

・お使いの携帯電話により通話音質は異なります。

自動受信の設定をする

- 1 [] を押してBluetoothモードに入る
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す(下表参照)
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、設定する

[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定: 下線部

SETTINGS	
AUTO ANSWER	1~30: 電話がかかって来てから設定した時間(秒)が経過すると、自動的に電話を受けます。 <u>OFF</u> : この機能は使用しません。
BATT/SIGNAL*	<u>AUTO</u> : 本機がBluetooth機器を検知して、その機器が接続されている場合、バッテリーとシグナルの強度が副ディスプレイ(ページ 31)に表示されます。 <u>OFF</u> : この機能は使用しません。

* お使いの携帯電話が対応しているときのみ使うことができます。

Bluetooth®機器を使う

電話をかける

電話番号をダイヤルするだけでなく、履歴や電話帳を使い電話をかけることができます。音声認識のついた携帯電話をお使いのときは、音声で電話をかけることもできます。

- 1 **[☎]** を押してBluetoothモードに入る
最初の機器名が表示されます。
 - Bluetooth携帯電話を2台接続している場合は、もう一度**[☎]**を押すと別の携帯電話に切り替わり、2台目の機器名が表示されます。
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す(下表参照)
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する

[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

CALL HISTORY

(PBAPに対応していない携帯電話では使用できません。)

- 1 ボリュームノブを押して名前または電話番号を選ぶ
 - 「INCOMING」(着信)、「OUTGOING」(発信)、「MISSED」(未受信)の履歴タイプがディスプレイ下部に表示されます。
 - **[DISP]**を押して「NUMBER」(電話番号)表示か「NAME」(名前)表示かを切り替えます。
 - 履歴が記録されていないときは、「NO DATA」と表示されます。
- 2 ボリュームノブを押して電話をかける

PHONE BOOK

(PBAPに対応していない携帯電話では使用できません。)

- 1 ボリュームノブを素早く回すアルファベット検索モードになります。「A」～「K」までの文字がディスプレイに表示されます。
 - 「L」以降の文字列(「LMNOPQRSTUVWXYZ」または「WXYZ1*」)を表示するには、**[1^]**/**[2^]**を押します。
 - 最初のアルファベットを選ぶには、ボリュームノブを回すか、**[←]**/**[→]**を押してからボリュームノブを押します。数字で始まる「名前」を選ぶときは、「1」を選びます。記号で始まる「名前」を選ぶときは、「*」を選びます。
- 2 ボリュームノブを回して名前を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して電話番号を選び、ボリュームノブを押して電話をかける

- 電話帳を使うときは、お使いのスマートフォンへのアクセス、またはスマートフォンからの転送を許可してください。接続した携帯電話によっては、操作方法が異なる場合があります。
- 連絡先は次のように分けられます：「HOME」(自宅)、「OFFICE」(勤務先)、「MOBILE」(携帯)、「OTHER」(その他)、「GENERAL」(一般)
- 電話帳は標準的なアルファベットのみ表示できます。アクセント記号は表示できません(「Û」などは「U」と表示されます)。

NUMBER DIAL

- 1 ボリュームノブを回して数字(0～9)またはアルファベット(*、#、+)を選ぶ
- 2 **[←]**/**[→]**を押して入力的位置を移動する
電話番号を入力し終わるまで、手順1と手順2を繰り返します。
- 3 ボリュームノブを押して電話をかける

VOICE


電話をかけたい相手の名前を言うボイスコマンドを使い、電話の他の機能を利用することもできます。
(26ページの「音声認識で電話をかける」もご覧ください)

LOW/MID/FULL : 電池の残量を表示します。*

NO SIGNAL/LOW/MID/MAX : 現在受信している信号の強さを表示します。*


* お使いの携帯電話が対応しているときのみ使うことができます。

音声認識で電話をかける

- 1 [ VOICE] を押し続ける
接続している携帯電話から音声認識で電話をかけられるようになります。
 - 2 電話をかけたい相手の名前を言う
ボイスコマンドを使い、電話の他の機能を利用することもできます。
- ・対応している音声認識機能は、携帯電話によって異なります。詳しくはお使いの携帯電話の説明書をご覧ください。


連絡先を登録する

連絡先は、数字ボタン[1]～[6]に6件まで登録して、短縮ダイヤルとして利用できます。

- 1 [] を押ししてBluetoothモードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“CALL HISTORY”、“PHONE BOOK”、または“NUMBER DIAL”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して、名前を選ぶか、電話番号を入力する
名前を選んだ後、ボリュームノブを押すと、電話番号を表示させることができます。
- 4 連絡先を登録する数字ボタン([1]～[6])を押し続ける
連絡先が登録されると「STORED」と表示されます。

登録した連絡先を数字ボタンから削除するには、手順2で“NUMBER DIAL”を選び、手順3で番号を入力せず、手順4を行います。

登録されている番号に電話をかける

- 1 [] を押ししてBluetoothモードに入る
- 2 数字ボタン([1]～[6])を押す
- 3 ボリュームノブを押して電話をかける
押した数字ボタンに連絡先が登録されていないときは、「NO MEMORY」と表示されます。

Bluetoothモードの設定をする

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す(右表参照)
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する


[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

BT MODE	
PHONE SELECT	接続または接続解除する携帯電話またはオーディオ機器を選びます。接続されると機器名の前に「*」と表示されます。使用中のオーディオ機器の前に「▷」と表示されます。
AUDIO SELECT	・接続されている携帯電話2台とオーディオ機器1台を同時に利用することができます。
DEVICE DELETE	1 ボリュームノブを回して削除する機器を選び、ボリュームノブを押す。 2 ボリュームノブを回してYESまたはNOを選び、ボリュームノブを押す。
PIN CODE EDIT (0000)	PINコードを変更します(6桁まで)。 1 ボリュームノブを回して数字を選ぶ 2 [◀] / [▶] を押しして入力的位置を移動する PINコードを入力し終わるまで、手順1と手順2を繰り返します。 3 ボリュームノブを押して決定する
RECONNECT	ON/OFF : この機能をオンにすると、最後に接続したBluetooth機器が感知範囲内に入った場合に、自動的に再接続します。
AUTO PAIRING	ON : Bluetooth搭載のiPhone/iPod touchをUSB端子に接続している場合に自動的にペアリングします。接続している機器のOSによっては、この機能が使えないことがあります。 OFF : この機能は使用しません。
INITIALIZE	YES : Bluetoothの全設定(登録されているペアリング、電話帳など)を初期化します。 NO : この機能は使用しません。

Bluetoothテストモード

本機とBluetooth機器間で使用できるプロファイルを確認できます。

- Bluetooth機器がペアリングされていないことを確認してください。

- 1 []を押し続ける
「PLEASE PAIR YOUR PHONE PIN 0000」(電話をペアリングしてください
PIN 0000)というメッセージがディスプレイに表示されます。
- 2 Bluetooth機器で本機の名称(TZ-ND001)を探して選ぶ
- 3 Bluetooth機器を操作してペアリングする
本機のディスプレイに「TESTING」(テスト中)のメッセージが点滅します。

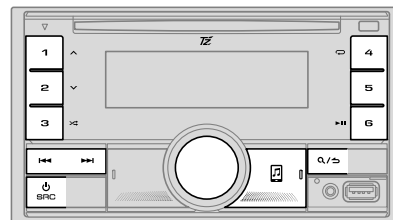
テスト終了後、以下の項目に「OK」または「NG」のテスト結果が表示されます。

- 「PAIRING」 : ペアリングが可能か。
「HF CNT」 : ハンズフリー通話に対応しているか。
「AUD CNT」 : オーディオ機器としてA2DPプロファイルに対応しているか。
「PB DL」 : 電話帳転送のためのPBAPプロファイルに対応しているか。

テストモードを終了するには、[ SRC]を押し続けて本機の電源をオフにします。



Bluetooth — オーディオ

- 接続している機器によっては、操作やディスプレイ表示が異なる場合があります。
- 接続している機器によっては、ご利用にならない機能があります。



BT AUDIOでは、5台のBluetooth機器を接続することができ、その中から1台を選ぶことができます。

Bluetoothで接続しているオーディオ機器を聞く

- 1 [ SRC]を繰り返し押ししてBT AUDIO を選ぶ
 - []を押して直接BT Audioに入ります。
- 2 Bluetooth接続しているオーディオ機器の再生を本機で操作する

Bluetooth®機器を使う

動作	操作パネル
再生/一時停止	[6▶]を押す
グループまたはフォルダーを選ぶ	[1▲]/[2▼]を押す
曲/ファイルを選ぶ	[◀◀]/[▶▶]を押す
早戻し/早送りをする	[◀◀]/[▶▶]を押し続ける
リピート再生をする	[4↻]を繰り返し押す ALL REPEAT、FILE REPEAT、GROUP REPEAT、REPEAT OFF
ランダム再生をする	[3>≡]を押し続けて、ALL RANDOMまたはGROUP RANDOMを選ぶ • [3>≡]を押してRANDOM OFFを選びます。
フォルダーまたはリストからファイルを選ぶ	20ページの「再生するファイルを選ぶ」をご覧ください。
接続しているBluetoothオーディオ機器を切り替える	[5]を押す (接続している機器の再生ボタンを押しても、機器を切り替えられません。)

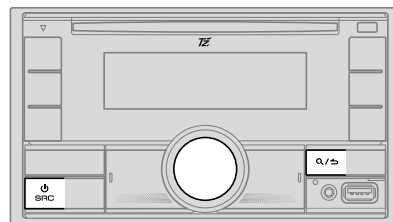
Bluetooth接続でiPod/iPhoneを聞く

本機ではBluetooth接続でiPod/iPhoneのトラックを聞くことができます。

[SRC]を繰り返し押してiPod BTを選びます。

- USB入力端子接続のiPod/iPhoneと同じようにiPod/iPhoneを操作することができます。(ページ 19)
- iPod BTソースを聴いているときにiPod/iPhoneをUSB入力端子に接続すると、ソースは自動的にiPod USBソースに切り替わります。お使いの機器をBluetoothと接続する時に[SRC]を押してiPod BTが音源として選びます。

音質を設定する



音源を聞いているときに、

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す(下表参照)
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する

[Q/≡]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：下線部

AUDIO CONTROL

EASY EQ

お好みに合わせて音声を調節する。

- 設定はPRESET EQのUSERに登録されています。
- 調節した設定によりMANUAL EQの現在の設定も変わります。

BASS : LEVEL -9 ~ LEVEL +9 (初期設定：LEVEL 0)

MID : LEVEL -9 ~ LEVEL +9 LEVEL 0

TRE : LEVEL -9 ~ LEVEL +9 LEVEL 0

音質を設定する

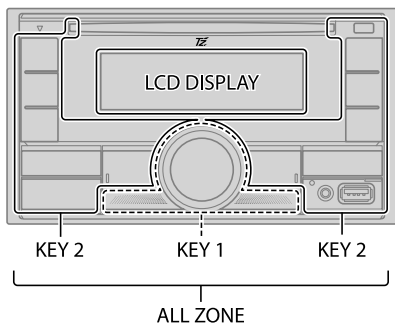
MANUAL EQ	音質(周波数、トーンレベル、Qファクター)をお好みに合わせて調節します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定は PRESET EQ の USER に登録されています。 調節した設定により EASY EQ の現在の設定も変わります。
62.5HZ	LEVEL LEVEL -9 ~ LEVEL +9 (LEVEL 0) : 音源ごとに保存されます。 (調節する前に、調節したい音源を選んでください)
	BASS EXTEND ON/OFF : 低音を響かせるか、どうかの設定をします。
100HZ/160HZ/250HZ/ 400HZ/630HZ/1KHZ/ 1.6KHZ/2.5KHZ/4KHZ/ 6.3KHZ/10KHZ/16KHZ	LEVEL -9 ~ LEVEL +9 (LEVEL 0) : 音源ごとに保存されます。 (調節する前に、調節したい音源を選んでください)
Q FACTOR	1.35/1.50/2.00 : Qファクターを選びます。
PRESET EQ	NATURAL/ROCK/POPS/EASY/TOP40/JAZZ/POWERFUL/USER : 音楽ジャンルに合った設定を選びます。 (EASY EQ または MANUAL EQ の設定を使うには USER を選びます。)
BASS BOOST	LEVEL1/LEVEL2/LEVEL3/LEVEL4/LEVEL5/OFF : 低音のブーストレベルを5段階で調節します。
LOUDNESS	LEVEL1/LEVEL2/OFF : 小さな音量で音楽を聞くときに不足しがちな低音域と高音域の補正量を2つのレベルから選びます。
FADER	R15 ~ F15 (0) : 前後の音量バランスを調節します。
BALANCE	L15 ~ R15 (0) : 左右の音量バランスを調節します。
VOLUME OFFSET	LEVEL -15 ~ LEVEL +6 (LEVEL 0) : FMの音量レベルを基準にして各音源の初期音量を設定します。 (調節をする前に、設定したい音源を選びます)

SOUND EFFECT

SOUND RECNSTR (Sound reconstruction)	(音源がRADIOおよびAUXのときは使用できません) ON : 圧縮オーディオで失われた高音域を補完してリアリティーのあるサウンドを再現します。 OFF : この機能は使用しません。
SPACE ENHANCE	(音源がRADIOのときは使用できません) SMALL/MEDIUM/LARGE/OFF : 音域の広がりを3段階で調節します。
SND REALIZER	LEVEL1/LEVEL2/LEVEL3/OFF : リアリティーのあるサウンドを3段階で調節します。
STAGE EQ	LOW/MIDDLE/HIGH/OFF : スピーカー位置の高さを仮想的に3段階で調節します。
DRIVE EQ	ON/OFF : この機能を使うと周波数をあげてロードノイズの影響を低減することができます。

ディスプレイの表示を設定する

色と明るさが設定できるゾーン



ディマーの設定をする

[DISP]を押し続けてディマーをオン/オフにします。

・このボタンを押し続けると“DIMMER”の設定が上書きされます。

ディスプレイの設定を切り替える

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す(右表参照)
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する

[Q/△]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定：下線部

DISPLAY

COLOR SELECT ALL ZONE、LCD DISPLAY、KEY 1 および KEY 2 のイルミネーションの色をそれぞれ選んでください。

- 1 ゾーンを選ぶ
(左側のイラストをご覧ください。)
- 2 選んだゾーンの色を選ぶ
INITIAL COLOR/VARIABLE SCAN/CUSTOM R/G/B/RED1/RED2/RED3/PURPLE1/PURPLE2/PURPLE3/PURPLE4/BLUE1/BLUE2/BLUE3/SKYBLUE1/SKYBLUE2/LIGHTBLUE/AQUA1/AQUA2/GREEN1/GREEN2/GREEN3/YELLOWGREEN1/YELLOWGREEN2/YELLOW/ORANGE1/ORANGE2/ORANGERED

好きな色に調節したいときはCUSTOM R/G/Bを選んでください。自分で調節した色はCUSTOM R/G/Bに登録されます。

- 1 ボリュームノブを押して、細かい色調節をする
- 2 [◀] / [▶] を押して調節する色 (R/G/B—赤/緑/青) を選ぶ
- 3 ボリュームノブを回して色を調節し(0 ~ 9)、ボリュームノブを押す

DIMMER

ディスプレイのイルミネーションを暗くします。

ON/OFF : ディマーをオン/オフにします。

DIMMER TIME : ディマーのON(開始)時間とOFF(終了)時間を設定します。

- 1 ボリュームノブを回して設定したいONの時間を選び、ボリュームノブを押す
- 2 ボリュームノブを回して設定したいOFFの時間を選び、ボリュームノブを押す
(初期設定：ON : PM6:00、OFF : AM6:00)

BRIGHTNESS

“DAY”(昼)と“NIGHT”(夜)の明るさをそれぞれ設定します。

- 1 DAY/NIGHT : 昼か夜かを選ぶ
- 2 ゾーンを選ぶ
(左側のイラストをご覧ください。)
- 3 LEVEL0 ~ LEVEL31 : 明るさのレベルを設定する

TEXT SCROLL

AUTO : 5秒間隔でスクロールを繰り返します。

ONCE : 表示情報を1回スクロールします。

OFF : この機能は使用しません。

CLOCK

CLOCK DISPLAY ON/OFF : 本機の電源がオフのときも、時計が表示されます。

その他の情報

それぞれの音源について

再生できるファイル

- ディスク
 - 再生できる音声ファイル：MP3 (.mp3), WMA (.wma), AAC (.aac)
 - 再生できるメディア：CD-R/ CD-RW/ CD-ROM
 - 再生できるファイルフォーマット：ISO 9660 Level 1/2, Joliet, Long file name
- USB機器
 - 再生できる音声ファイル：MP3 (.mp3), WMA (.wma), AAC (.aac), AAC (.m4a), WAV (.wav), FLAC (.flac)
 - 再生できるファイルフォーマット：FAT12, FAT16, FAT32

オーディオファイルが上記に対応していても、メディアや機器のタイプや状況により再生できないことがあります。

iTunesでエンコードされたCDのAAC(.m4a)ファイルは本機では再生できません。

USB機器について

- USBハブを介してUSB機器を接続することはできません。
- 全長5 m以上のUSBケーブルを使っているときは、再生不良の原因となります。
- 本機は電圧5 V以外、消費電流1.5 A以上のUSB機器は認識できません。

iPodまたはiPhoneについて

- Made for
- iPod touch (6th generation)
 - iPhone 5S, 6, 6 Plus, 6S, 6S Plus, SE, 7, 7 Plus, 8, 8 Plus, X, XS, XS MAX, XR, 11, 11 Pro, 11 Pro MAX, SE (2nd generation), 12, 12 Mini, 12 Pro, 12 Pro MAX
 - 本機の実機メニューに表示される曲順は iPod/iPhone のものと異なる場合があります。
 - iPod または iPhone の OS のバージョンによっては、本機では利用できない機能があります。

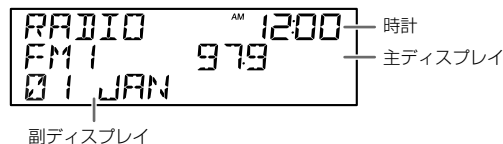
Bluetooth機器について

- Bluetooth のバージョンによっては、本機と接続できないことがあります。
- Bluetooth 機器によっては、本機で使用できないことがあります。
- 通信品質は、接続する周辺の環境によって変わります。

ディスプレイの表示を切り替える

[DISP] を押すと、表示される情報が変わります。

- 情報がない場合、または記録されていない場合は「NO TEXT」または「NO INFO」、その他の情報 (放送局名など) が表示されるか、何も表示されません。



音源	ディスプレイ表示の内容：主ディスプレイ (副ディスプレイ)
STANDBY	音源名 (日付)
RADIO	周波数 (日付)
CD/ USB	音楽CDの場合： トラック名 (アーティスト) → トラック名 (ディスク名) → トラック名 (日付) → 再生時間 (日付) → 最初に戻る MP3/WMA/AAC/WAV/FLACファイル： 曲名 (アーティスト) → 曲名 (アルバム名) → 曲名 (日付) → ファイル名 (フォルダー名) → ファイル名 (日付) → 再生時間 (日付) → 最初に戻る
iPod USB/ iPod BT	曲名 (アーティスト) → 曲名 (アルバム名) → 曲名 (日付) → 再生時間 (日付) → 最初に戻る
BT AUDIO	曲名 (アーティスト) → 曲名 (アルバム名) → 曲名 (日付) → 再生時間 (日付) → 最初に戻る
外部接続機器 を聞く	音源名 (日付)

故障かな？と思ったら

症状	対処方法
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量を調節してください。 接続コードや配線を確認してください。
「MISWIRING CHECK WIRING THEN PWR ON」と表示される	電源をオフにして、スピーカーコードがショートしていないかを確認してください。確認後、もう一度電源をオンにしてください。
「PROTECTING SEND SERVICE」と表示される	お近くのJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
音源が選択できない	“SOURCE SELECT”の設定を確認してください。(ページ 16)
本機が動作しない	本機をリセットしてください。(ページ 14)
ディスプレイの表示が正確でない(アルバム名など)	英大文字、数字といくつかの記号が表示できます。表示できない文字は、「_」表示となります。
ラジオ	<ul style="list-style-type: none"> ラジオの感度が悪い ラジオに騒音が入る
	アンテナをしっかりと接続してください。
CD/USB/iPodを聞く	
ディスクが取り出せない	ディスクが完全に排出されるまで[▲]を押し続けてください(ディスクが排出されるときに、ディスクを落とさないように気をつけてください)。それでも取り出せないときは、本機をリセットしてください。(ページ 14)
雑音が入る	他の曲を選ぶか、ディスクを取り替えてください。
「READING」が点滅し続ける	<ul style="list-style-type: none"> 階層を複雑にしたり、フォルダー数をあまり多くしないでください。 ディスクを入れ直すか、機器(USB/iPod/iPhone)を接続し直してください。
再生の順番が思ったとおりではない。	ディスク：ファイルは録音された順番で再生されます。USB機器：フォルダーは制作された日付/時刻の順で再生されます。フォルダーの中のファイルはファイル名のアルファベット順で再生されます。
経過時間が正確でない	録音方法によっておこります(ディスク/USB)。

症状	対処方法
[Q/△]を押してファイル検索モードに入ると「LOADING」と表示される	本機がiPodまたはiPhoneのミュージックリストを準備しています。時間がかかる場合があります。時間をおいて試してください。
「NA FILE」	再生可能なファイルがあるかを確認してください。(ページ 31)
「NO DISC」	再生可能なディスクをディスク挿入口に入れてください。
「TOC ERROR」	ディスクのクリーニングをして、正しい向きで挿入し直してください。
「PLEASE EJECT」	本機をリセットしてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
「NO DEVICE」	機器(USB/iPod/iPhone)を接続して、音源をUSBまたはiPod USBに切り替えてください。
「COPY PRO」	コピープロテクトされているファイルが再生中です。
「UNSUPPORTED DEVICE」	<ul style="list-style-type: none"> 接続している機器が本機に対応しているか、ファイルフォーマットがシステムに対応しているかを確認してください。(ページ 31) 機器を取り付け直してください。
「UNRESPONSIVE DEVICE」	USB機器が正常に動作するかを確認して、機器を取り付け直してください。
「USB HUB IS NOT SUPPORTED」	本機ではUSBハブを介して接続しているUSB機器は使えません。
<ul style="list-style-type: none"> 他の音源を聞いているときにUSB機器を接続しても、音源がUSBに切り替わらない 「USB ERROR」が表示される 	<p>USBポートが制限以上に電源を使っています。本機の電源をオフにして、USB機器を取りはずし、もう一度電源をオンにしてUSB機器を接続し直してください。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、本機の電源をオフにして、もう一度オンにして(またはリセットして)から他のUSB機器を接続してください。</p>
iPod/iPhoneの電源がオンにならない、または使えない	<ul style="list-style-type: none"> 本機とiPod/iPhoneの接続を確認してください。 iPod/iPhoneを取りはずして、ハードリセットしてください。

故障かな?と思ったら

	症状	対処方法
CD/USB/iPodを聞く	「NO MUSIC」	再生可能なオーディオファイルを含む機器(USB/iPod/iPhone)を接続してください。
	「iPod ERROR」	<ul style="list-style-type: none"> • iPodを接続し直してください。 • iPodをリセットしてください。 • [⏏ SRC]を押し続けて電源をオフにしてください。その後、もう一度電源をオンにします。
	「MEMORY FULL」	お使いのiPod/iPhoneの最大保存容量に達しています。
Bluetooth®	Bluetooth機器が検出されない	<ul style="list-style-type: none"> • Bluetooth機器から、再度検出してください。 • 本機をリセットしてください。(ページ 14)
	Bluetooth機器とのペアリングができない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機とBluetooth機器に同じPINコードを入力しているかを確認してください。 • 本機とBluetooth機器からペアリングの情報を削除し、もう一度、ペアリングを実行してください。(ページ 23)
	通話中にエコーがかかる、または雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> • マイクの位置と角度を調節してください。(ページ 22) • 「ECHO CANCEL」の設定を確認してください。(ページ 24)
	通話品質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> • Bluetooth機器を本機に近づけてください。 • 車両を電波状況の良い場所に移動させてください。
	電話の相手の声が車のスピーカーから聞こえてこない	ハンズフリーモードと普通通話モードを切り替えるには、[6▶II]を押す。(ページ 24)
	音声やボイスコマンドが正しく認識されない	<ul style="list-style-type: none"> • 静かな場所でマイクに向かって発声してください。 • マイクの近くで「名前」を言ってください。 • 音声を事前に登録する必要がある機器では登録者の声のみ認識します。

	症状	対処方法
Bluetooth®	Bluetoothオーディオプレーヤーの再生中に音が飛んだり、途切れる	<ul style="list-style-type: none"> • Bluetooth機器を本機に近づけてください。 • 本機の電源をオフにして、またオンにして接続し直してください。 • 他のBluetooth機器の電源をオフにするか、Bluetooth機器を遠ざけてください。
	接続したBluetooth機器が操作できない	<ul style="list-style-type: none"> • 接続しているBluetooth機器がAudio/Video Remote Control Profile (AVRCP)に対応しているかを確認してください。(お使いのオーディオプレーヤーの説明書をご覧ください) • Bluetooth機器を接続し直してください。
	「NOT SUPPORT」	携帯電話が音声認識または電話帳転送に対応していません。
	「NO ENTRY」	登録済の機器が接続されていません。
	「ERROR」	もう一度操作をしてください。「ERROR」とまた表示されたときは、お使いの機器が使おうとしている機能に対応しているかを確認してください。
	「NO INFO」/「NO DATA」	電話番号などの連絡先のデータがありません。
	「HF ERROR XX」/「BT ERROR」	本機をリセットしてもう一度操作してください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
	「SWITCHING NG」	接続している携帯はこの機能に対応していません。
	本機とBluetooth機器の接続が不安定	使っていないBluetooth機器の登録を本機から削除してください。(ページ 26)

仕様

チューナー部	FM 受信周波数範囲	76.0 MHz ~ 99.0 MHz (100 kHz)
	実用感度(S/N = 30 dB)	8.2 dBf (0.71 μ V/75 Ω)
	クワイティング感度 (DIN S/N = 46 dB)	17.2 dBf (2.0 μ V/75 Ω)
	周波数特性	30 Hz ~ 15 kHz (\pm 3.0 dB)
	S/N比	64.0 dB (MONO)
	ステレオ・セパレーション	40 dB (1 kHz)
AM 受信周波数範囲	522 kHz ~ 1 629 kHz (9 kHz)	
	実用感度(S/N = 20 dB)	29.0 dB μ (28.2 μ V)
CDプレーヤー部	レーザーダイオード	GaAlAs
	デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
	回転数	500 rpm ~ 200 rpm(線速度一定)
	ワウ&フラッター	測定限界以下
	周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz (\pm 1 dB)
	高調波歪み率	0.01 % (1 kHz)
	S/N比	95 dB (1 kHz)
	ダイナミックレンジ	93 dB
	チャンネルセパレーション	91 dB
	MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード	Windows Media Audio準拠	
AACデコード	AAC-LC形式「.aac」ファイル	

USB	USB規格	USB1.1、USB2.0(ハイスピード)
	ファイルシステム	FAT12/16/32
	最大供給電流	DC 5 V \pm 1.5 A
	MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
	WMAデコード	Windows Media Audio準拠
	AACデコード	AAC-LC形式「.aac」、「m4a」ファイル
WAVデコード	リニアPCM	
FLACデコード	FLACファイル (96 kHz/24 bitまで対応)	
Bluetooth部	規格	Bluetooth 4.2
	受信周波数範囲	2.402 GHz ~ 2.480 GHz
	RF出力電源 (E.I.R.P.)	+4 dBm(最大)、パワークラス 2
	最大通信距離	約10 m
	プロファイル	HFP 1.7.1 (Hands-Free Profile) SPP (Serial Port Profile) PBAP (Phonebook Access Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP 1.6.1 (Audio/Video Remote Control Profile)
AUX入力	周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz (\pm 3 dB)
	入力最大電圧	1 000 mV
	入力インピーダンス	30 k Ω

仕様

オーディオ部	最大出力	50 W × 4	
	定格出力 (THD1%未満)	22 W × 4	
	スピーカーインピーダンス	4 Ω ~ 8 Ω	
	オーディオコントロール	Band 1 :	62.5 Hz ±9 dB
		Band 2 :	100 Hz ±9 dB
		Band 3 :	160 Hz ±9 dB
		Band 4 :	250 Hz ±9 dB
		Band 5 :	400 Hz ±9 dB
		Band 6 :	630 Hz ±9 dB
		Band 7 :	1 kHz ±9 dB
Band 8 :		1.6 kHz ±9 dB	
Band 9 :		2.5 kHz ±9 dB	
Band 10 :		4 kHz ±9 dB	
Band 11 :		6.3 kHz ±9 dB	
Band 12 :		10 kHz ±9 dB	
Band 13 :		16 kHz ±9 dB	
一般	電源電圧	12 V DC バッテリー	
	埋込寸法(幅 × 高さ × 奥行)	178 mm × 100 mm × 156 mm	
	質量 (トリムプレートを含む)	1.3 kg	

仕様およびデザインは、予告なく変わる場合があります。

- Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by JVCKENWOOD Corporation is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

配線・取り付け

基本的な手順

- 1 エンジンスイッチをオフにして、バッテリーの⊖端子をはずす
- 2 各ワイヤーを正しく接続する
37ページの「配線のしかた」をご覧ください。
- 3 本機を車両に取り付ける
以下の「本機を取り付ける(インダッシュの取り付け)」をご覧ください。
- 4 取り付け終了後にバッテリーの⊖端子を接続する
- 5 [⊖SRC]を押して本機の電源をオンにする
- 6 本機をリセットしてください。(ページ 14)

取り付けについて

別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使えば、お使いのお車に最適な方法で取り付けができます。

- キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

△ 注意

本機を取り付けの際には、必ず付属のネジをご使用ください。

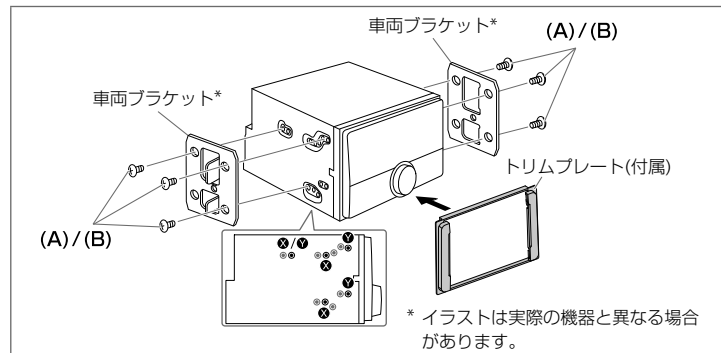
- 付属ネジより長いネジを使うと、本機内部を傷つけたり、火災になる恐れがあります。
- 付属ネジより短いネジを使うと、本機が車両ブラケットからはずれる恐れがあります。
- トラスネジとサラネジが付属されています。車両に合ったネジをお使いください。

付属ネジ

(A)		トラスネジ (M5 × 8 mm)	× 6
(B)		サラネジ (M5 × 8 mm)	× 6
(C)		セムスネジ (M4 × 8 mm)	× 1

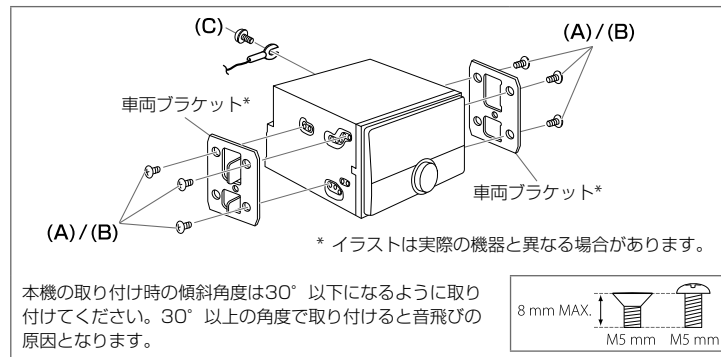
トヨタ車に取り付ける

車両ブラケットを適切な取り付け穴(⊗)または(⊙)に固定します。次に付属のトリムプレートを取り付けます。

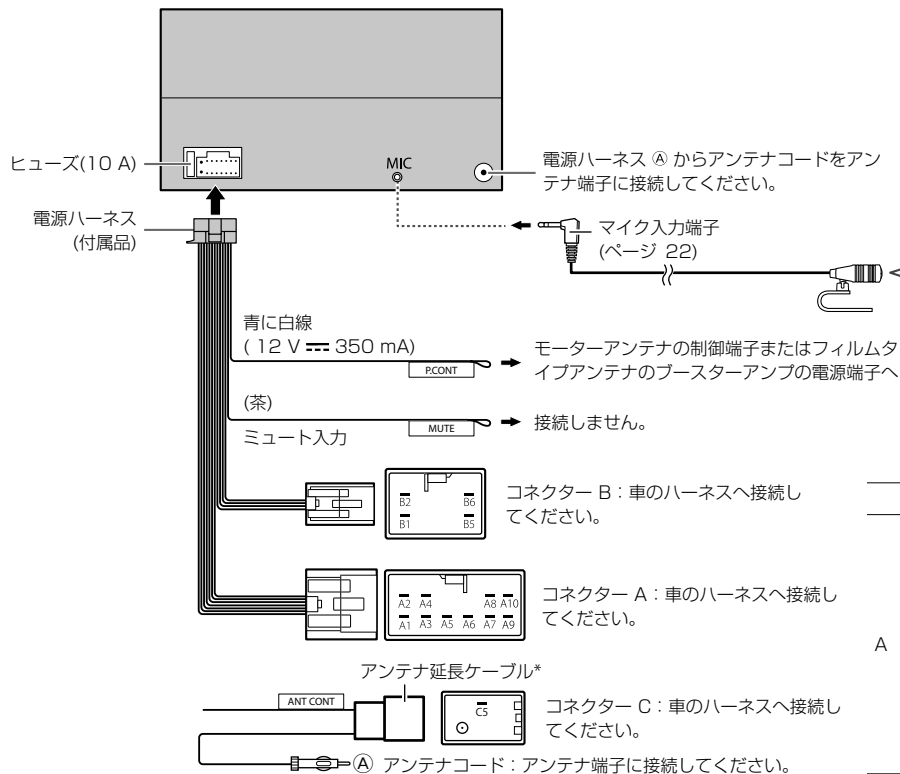


本機を取り付ける(インダッシュの取り付け)

車両ブラケットのネジ穴の形状に合わせて、付属ネジ(A)または(B)で固定します。ワイヤリングキット(別売品)にアースコードがあるときは、付属ネジ(C)で固定します。

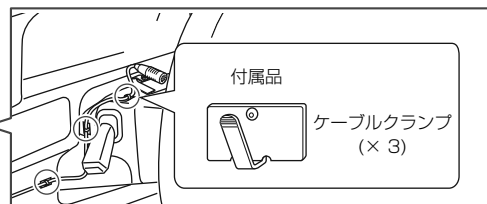


配線のしかた



⚠ 警告

ケーブルクランプでワイヤーを固定してください。ショートを防止するために、金属部分と接するワイヤーの回りにはビニールテープを巻いて保護してください。



ピン	色と機能
A1	オレンジ/白ディマー
A2	黄: バッテリー
A3	青: アンテナコントロール
A4	赤: イグニッション(ACC)
A5	青: アンテナコントロール
A6	黒: アース接続
A7/A8	白に黒線 ⊖ / 白 ⊕: 左スピーカー
A9/A10	灰に黒線 ⊖ / 灰 ⊕: 右スピーカー
B1/B2	緑に黒線 ⊖ / 緑 ⊕: 左スピーカー
B5/B6	紫に黒線 ⊖ / 紫 ⊕: 右スピーカー
C C5	青: アンテナコントロール

* アンテナコントロールを使用する時に、ANT CONT リード(青) をワイヤリング ハーネス上の A5(青) に接続してください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げ日または取り付け日より3年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、からは 0570-010-114 (ナビダイヤル)
IP 電話などからは 045-450-8950
(受付時間などは、裏表紙を参照してください。)

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(ページ 32)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

• 保証期間中は...
保証規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書に必要事項を記入の上、ご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書および保証規定をご覧ください。

• 保証期間経過後は...
お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

• 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
製品を修理のために、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニットなどがある場合は、ディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

• 車両からの取り外し/取り付けについて
修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターにお持ちください。
なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外した場合は取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

• 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

保証規定

- 保証書に示すの保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料になります。**
 - 本保証書のご提示のない場合。
 - 本保証書に形名/製造番号の印字のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。(取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に關して、責任を負いません。)
 - 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - 一般車載用途以外に使用された場合の故障および損傷。(例えば、業務用の長時間使用、船舶<船舶用製品を除く>、直流電源装置を用いた一般家庭での使用等)
 - 製造番号の改変および、取り外した製品。
 - 消耗部品(例えば、SDメモリーカード、乾電池、充電池等)の交換。
 - 1) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
2) 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。(インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- ※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- ※ 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
- ※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ 本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



形名／製造番号		※お買い上げ日または取り付け日	
		年 月 日	
		保証期間(お買い上げ日または取り付け日より)	
		本体: 3 年	
※お客様	お名前		
	様		
※販売店	ご住所 〒		
	電話番号 ()		
店名・住所			
電話番号 ()			

お客様の正常なご使用状況で万が一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- ・ 無料修理の条件について、詳しくは本ページ裏側の「保証規定」をご覧ください。
- ・ 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- ・ お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販売店および取り付け施行店へのお願い

- ・ お買い上げ後または商品取り付け後、保証書に※印欄(お買い上げ日または取り付け日、お客様、販売店)は必ずご記入ください。
- ・ 販売店欄へ店名、住所、電話番号のご記入をお願いします。

販売元 トヨタ モビリティパーツ株式会社

製造元 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- ・ 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00

土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- ・ 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

